

「読みたい 知りたい 調べたい」 子どもと本をつなぐ環境づくり

旭市子ども読書活動推進計画(第2次)では、子どもが本と関わる機会を増やす取り組みを定めています。その中で、中心的な役割を担っているのが市の図書館です。

今回は、図書館における子どもの読書活動推進の取り組みを紹介します。

市図書館における子どもの読書活動推進の取り組み

◇小・中学校や保育所への図書配送サービス

市内の小・中学校へ1週間に1回、公立公営保育所へ2週間に1回、図書館の配送車が巡回し、読み聞かせ・朝読書・授業での調べ学習で使用する本を届け、市図書館で所有する図書を最大限に活用しています。

子どもたちが多くの時間を過ごす学校や保育所に本を届けることで、より多くの本を読むことができる環境づくりに努めています。

◇ブックリストの発行

子どもの発達に合った魅力的な本と出会うきっかけをつくるため、お勧めの本のリストを作成し、小・中学校の全生徒へ配布しています。

◇イベントや講座を開催

毎月第1・3土曜日に「おはなしの時間」として絵本や紙

芝居の読み聞かせを行っています。

夏休みには「読書感想文の書き方教室」などを開催しています。

このほか、読み聞かせボランティアを支援するため、講座などを開催して、読書活動の推進に努めています。



おはなしの時間の様子

市図書館が文部科学大臣賞を受賞

文部科学省では、子どもの読書活動についての関心と理解を深め、積極的に読書をする意欲を高めるため、特色ある優れた取り組みを行っている学校・図書館・個人・団体に対し大臣表彰を行っています。

令和4年度の子供の読書活動優秀実践図書館として、市図書館が大臣表彰を受賞しました。

広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

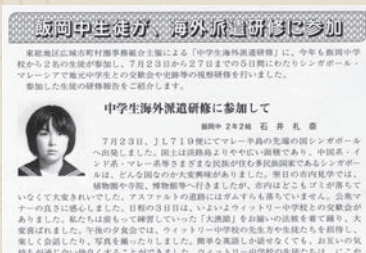
第3回

2002年(平成14年)12月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今号は広報いいおか2002年12月号を紹介します。表紙では、寒空の下、子どもたちが元気に遊んでいる様子を紹介しています。写真の子どもたちも、今ではすっかり大人になっていることでしょう。読者の中に本人がいるかもしれませんね。

特集記事では、飯岡中の生徒が海外派遣研修で5日間にわたってシンガポール・マレーシアで現地の中学生と交流したことについての感想が綴られています。この事業は今でも継続しています。



10ページ

平成14年の主な出来事

- 2002FIFAワールドカップ
- 多摩川にアゴヒゲアザラシの「タマちゃん」出現



寒さなんか へっちゃらだよ!

冷たい風が吹きはじめても、子供たちには関係なし。
「寒くないの?」「ぜんぜん!」
みんなで楽しそうに遊んでいました。

●人口/11,298人(10: 男/5,537人(2) 女/5,761人(8) ●世帯数3,591(4) ●平成14年11月1日現在()内は前月比
発行所 ホームページアドレス <http://www.iiooka.or.jp/townhall/index.htm>
〒メールアドレス iiooka1@iiooka.or.jp

表紙